

アンコールでは熊谷さん(中央)の指揮で「この道」を合唱



白秋ホールで白秋の曲を 国内トップクラスの歌声で聴衆を魅了

北原白秋没後80周年事業として5月30日、東京混声合唱団によるコンサートが市民文化会館で開催されました。「赤い鳥小鳥」や「ペチカ」など、プログラムは全て白秋が作詞した曲のみで構成。日本を代表する熊谷弘さん指揮のもと、国内随一の歌声が白秋ホールに響き渡りました。アンコールでは「この道」を合唱。コンサート終了後は割れんばかりの拍子が沸き起こりました。鑑賞した60代の女性は「鳥肌が立つほど美しい歌声だった」と感動していました。

昨年を上回る約1トンの梅の実を収穫



丸々と実った梅の実を収穫 七ツ家梅の木街道で梅ちぎり

5月22日、七ツ家の梅の木街道で、毎年恒例の梅ちぎりがありました。街道には1キロにわたって約150本の梅の木が立ち並んでいます。当日は木を管理する七ツ家老人クラブ連合会の会員約80人が、昨年の860kgを上回る約1トンの梅の実を収穫しました。収穫した梅の実は2kg600円で現地販売。もぎたての梅を買い求めて、市内外から約120人が訪れました。同連合会の井上一實会長は「今年の梅は小ぶりだが、豊作でした」と話しました。

飛んでくるボールを追いかける選手



ボールを追いかけて熱い戦い 3年ぶりに市民ソフトテニス大会開催

5月28日と29日、3年ぶりの開催となった市民ソフトテニス大会が大和テニスコートでありました。市内の小中学生55組、110人が参加。日ごろの練習成果を発揮し、汗を流しました。大会の結果は次のとおりです(敬称略、かっこ内は学校名)。男子の部、優勝=藤丸尚大・北村晴斗ペア(三橋中)、準優勝=田中虹輝・野口要人ペア(同)。女子の部、優勝=吉開杏唯莉・田中明衣ペア(蒲池中)、準優勝=大橋由奈・野口璃音ペア(同)

講師にバイオリンの弾き方を教えてもらう児童



初めてのバイオリン体験 矢ヶ部小学校「バイオリン教室」

矢ヶ部小学校で6月10日、アクロス福岡の「学校キャラバン」によるバイオリン教室が開催されました。講師はバイオリニストの佐藤仁美さんとピアニストの田中美江さん。教室では、講師による楽器紹介やクラシック曲の生演奏の他、児童のバイオリン体験がありました。ほとんどの児童がバイオリンを実際に見たり触ったりしたことがなく、楽器の持ち方から講師が丁寧に指導。児童たちは「簡単そうだけど、音を鳴らすだけでも難しかった」と感想を言っていました。



冷たさに歓声を上げながら水をかけ合う児童たち



1年生をおんぶして水中を歩く6年生

まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係(☎77・8425)

夏の訪れ告げる児童の歓喜 市内の小学校でプール開き

6月に入り、市内の各小学校でぞくぞくと始まったプールの授業。6月15日にプール開きをした有明小学校へ取材に行くと、1年生8人と6年生15人が元気に準備運動をしていました。その後、プールサイドで水をかけ合い、体を水の冷たさに慣らしてからプールの中へ。プールの中では、先生が投げたボールを潜って見つけたり、6年生が1年生を背負って水中を歩いたりしました。6年生の藤丸央丞君は「水が冷たくて気持ちよかった」と笑顔で答えてくれました。

赤い目標の球を狙って金属球を投げる参加者



金属球で生まれる固い結束 青空のもと開催された市民ペタンク大会

三橋グラウンドで6月3日、市民ペタンク大会が開かれました。ペタンクは金属球を投げてどれだけ目標の球に近づけるかを競います。大会は1チーム3人から4人のチーム戦形式で実施。参加者は協力してチームのボールをより目標の球に近づけるため、相手チームの球を遠くに弾いたり、味方の球を弾いて近づけたりしながら、熱戦を繰り上げました。その結果、優勝チームは宮上C(古賀勇生人、木原正彦、高田真砂子、敬称略)でした。

祭文を読み上げる立花民雄会長



孔子から学ぶ日本文化の礎 柳川孔子祭が3年ぶりに開催

「柳川の学問の祖」といわれる安東省菴に中国の儒学者朱舜水から贈られた3体の孔子像。そのうち1体が受け継がれている伝習館高校で5月22日、柳川孔子祭が3年ぶりに開催されました。会場では、同校琴部の演奏が流れる中、お供え物の奉納や拝礼が行われました。安東省菴顕彰会の立花民雄会長は「論語は日本人の精神や文化の一つとなっている。多くの人が孔子祭を通して論語に触れ、日本人としてあるべき姿を学んでほしい」と話していました。